



園長だより

(36号)

園長 大串 すみゑ

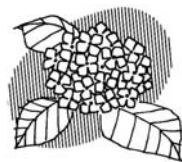
《6月は食育月間》

【大自然のめぐみ（青山緑水）】

「米も野菜もいのちです
肉も魚もいのちです
これらのいのちのおかげで
私たちのいのちも生かされています
『いただきます』『ごちそうさま』
尊いいのちに感謝して
食事をいただきましょう」

「青山緑水」

青い山、緑の水。雄大な自然の情景を表す言葉です。
それを永平寺の住職さんがわかりやすく説明して下さいました。



「青山緑水」は、5月の禅語ですが、6月は食育月間です。そして、毎月19日は食育の日。

食育月間の今月にぴったり当てはまる言葉です。

子ども達は、毎日のお弁当給食を楽しくいただいています。また、金曜日のお母さん手作りの素敵なお弁当

は特に楽しみにしています。栄養のバランスも、食欲をそそるような彩りや形など、とても工夫されています。年少組には、お箸の持ち方も無理強いないようにしながらも、教えています。

『まごたちわ(は)やさしい』 → 毎日色々な食品を摂取しましょう。

「ま」=豆 「ご」=ごま 「た」=たまご 「ち」=乳類 「わ」=わかめ等の海藻類
「や」=野菜 「さ」=魚 「し」=椎茸等のキノコ類 「い」=芋類

5月の園長だよりでお知らせしました「子どもが言われて嬉しい「ことば」の『あいうえお』と共に是非実行して下さい。

《早寝 早起き 朝ご飯 と 優しい言葉》で心身共に健康な毎日を過ごしましょう！！

【先生の報告書より】年少組

・アサガオの種まきをしてから、外遊びに行く前に発芽チェックをするのが 子ども達の日課になっていて、クラスの鉢、年中・年長の鉢を見て渡っています。アサガオの双葉を見て、「ちょうちょみたいだね」と可愛い事を言う子もいて、植物を大切に思い、成長を喜べる心が芽生えてきています。保育者が言葉掛けをしなければ、ただ育てしまうアサガオですが、子ども達の心を育てられる様、指導していこうと思っています。

